

2020年県内企業の冬季ボーナス支給額アンケート

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

県内企業に対して、下記の通り、今冬季ボーナス支給額のアンケート調査を実施した。

【アンケート調査要領】

調査時期・・・2020年11月中旬～下旬
 調査対象・・・県内に事業所を有する企業2000社
 調査方法・・・郵送により配布、回収
 回答数・・・468社(回答率23.4%)

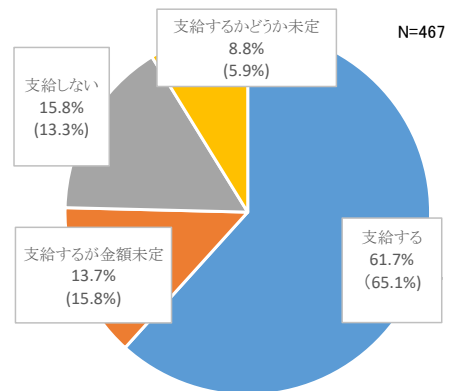
1. ボーナス支給の有無

ボーナスを「支給する」企業と、「支給するが金額未定」の企業を合わせると、7割超の企業が今冬ボーナスを支給する予定である(図表1)。

2. ボーナス支給額の見通し

ボーナス支給見込み額と昨冬の実績をあわせて尋ねたところ、従業員数で加重平均した今冬の一人当たりボーナス支給額は、44万600円(昨冬比▲5.8%)、平均支給月数は1.80カ月(昨冬比▲0.08カ月)となる見通しである(図表2)。特に製造業では、支給額の減少率が10%超と大きい。

図表1 冬季ボーナス支給



注:括弧内は前年調査のデータ結果

図表2 県内企業の冬季ボーナス支給額と支給月数

| | 回答企業数 | 支給額 | | | 支給月数 | | |
|------|-------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|
| | | 20年 | 19年 | 増減率 | 20年 | 19年 | 差 |
| 製造業 | 58 | 390,700 | 444,400 | ▲12.1% | 1.67カ月 | 1.79カ月 | ▲0.12カ月 |
| 非製造業 | 168 | 463,300 | 478,300 | ▲3.1% | 1.86カ月 | 1.91カ月 | ▲0.05カ月 |
| 全業種計 | 226 | 440,600 | 467,700 | ▲5.8% | 1.80カ月 | 1.88カ月 | ▲0.08カ月 |

注:業種不明先を除く

従業員規模別では、今冬の支給額は昨冬に比べて、従業員数の区分ごとに金額の差はあるが、すべての区分で支給額が減少する見通しである(図表3)。企業規模にかかわらず厳しい状況になっている。

図表3 従業員規模別の冬季ボーナス支給額

(単位:円)

| | | 従業員数 | | | |
|-------|-------|---------|----------------|------------------|---------|
| | | 29人以下 | 30人以上 99人以下 | 100人以上 299人以下 | 300人以上 |
| 回答企業数 | | 79 | 87 | 38 | 13 |
| 支給額 | ① 20年 | 401,400 | 422,000 | 403,600 | 503,500 |
| | ② 19年 | 402,300 | 449,800 | 460,100 | 510,100 |
| | 差額①-② | ▲ 900 | ▲ 27,800 | ▲ 56,500 | ▲ 6,600 |
| | 増減率 | ▲0.2% | ▲6.2% | ▲12.3% | ▲1.3% |

注:従業員数不明先を除く

3. ボーナスの支給時期

県内企業のボーナス支給時期については、ほとんどの企業が年内に支給する見込みである(図表4)。新型コロナウイルス感染症により、外出にも注意が必要な時期であるが、ボーナス商戦は12月の中旬以降になると思われる。

図表4 冬季ボーナス支給時期

| 支給時期 | 回答企業数 | 構成比率 |
|------------|-------|--------|
| 11月以前 | 9 | 2.6% |
| 12月1日～10日 | 122 | 34.8% |
| 12月11日～20日 | 154 | 43.9% |
| 12月21日～31日 | 64 | 18.2% |
| 1月以降 | 1 | 0.3% |
| 時期未定 | 1 | 0.3% |
| 合計 | 351 | 100.0% |

4. 新型コロナウイルス感染症の影響

今冬のボーナス支給の有無を決定するにあたり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた企業は5割を超えた(図表5)。特に製造業では7割超が影響を受けている。

図表5 新型コロナウイルス感染症の影響

| | 回答企業数 | 影響を受けた | 影響を受け なかった | 明確には 分からない | 合計 |
|------|-------|--------|---------------|---------------|--------|
| 製造業 | 121 | 74.4% | 15.7% | 9.9% | 100.0% |
| 非製造業 | 319 | 48.9% | 31.3% | 19.7% | 100.0% |
| 全業種計 | 440 | 55.9% | 27.0% | 17.0% | 100.0% |

注:業種不明先を除く

5. ボーナス支給総額決定にあたり考慮する事項

今冬のボーナス支給総額を決定するにあたり考慮する事項については、昨年同様「決算状況」が68.0%と最多となり、「従業員のモチベーション向上」も53.2%と半数を超えた(図表6)。「足元の業況」および「今後の業況」がそれぞれ4割超で続いたが、これらは昨年に比べ、それぞれ10%程度増加している。

新型コロナウイルス感染拡大により、売り上げが減少し、今後に不透明感を抱いている企業が多いと考えられる。その結果、足元と今後の業況を重視する企業が増加し、ボーナス支給額の減少につながった可能性が考えられる。

(担当:半田浩己)

図表6 ボーナス支給総額決定にあたり考慮する事項(複数回答)

